

特定非営利活動法人
足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ

2015 年度法人総会 議案書



※写真（左上から時計回りに）

市民と行政の協議会／市民・地域共同発電所全国フォーラム in 金沢
／アジア太平洋資料センター視察／オフグリッドハウス松江の家

- 第1号議案 2014 年度事業報告
- 第2号議案 2014 年度会計決算報告
- 第3号議案 2015 年度事業計画（案）
- 第4号議案 2015 年度会計予算（案）
- 第5号議案 2015～2016 年度役員（案）

2015 年 5 月 30 日 14:00～15:00
ほっと館

第1号議案 2014年度事業報告

2014年度は、昨年度に引き続き「脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信」をテーマに活動してきた。2012年度から取り組んでいる「えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”」は、1号機の発電低下問題を克服し、順調な発電実績をあげることができた。こうした経験を踏まえて他団体主催の講演会等への出講は11回を数え、市民電力連絡会での活動を通じて市民・地域主導で発電事業をめざす各地域との連携・交流が進んだ。また、2016年度の電力小売り自由化に向けて「自然エネルギーで豊かな日本をキャンペーン」や「パワーシフト」といった市民側の運動に参加・賛同すると共に、地域でも「さよなら原発江戸川連絡会」の活動に参加し、一定の役割を果たした。

発電事業以外の事業では、省エネアクションに向けた情報収集を行うに止まり、中期計画づくりワークショップで2017年度の設立20周年に向けた事業が検討された結果、オフグリッドハウス松江の家プロジェクトなどが企画されたが、活動の周知や地域の理解・関心を得るような企画については十分取り組めなかった。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

省エネアクションでは、10月にNPO法人エコプランふくいが設置した市民共同節電所を見学し、事業化に向けた情報収集を行ったほか、えどがわエコセンター・低炭素社会づくり委員会を通じて、省エネナビによる節電チャレンジやみどりのカーテンづくり等の事業に積極的に関わり、一定の節電効果を上げることが確認できた。また、生活クラブ生協が設立した「生活クラブエナジー株式会社」による省エネゲームのデータ更新に協力し、新たなゲームキットを作成することができた。

<自己評価>

省エネ事業の再構築に向けた検討が必要。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

5月に開催した定期総会で、屋久島の電力システムをテーマとした記念講演を開催した。また、「江戸川総合人生大学」や「市民セクター政策機構」「さよなら原発品川アクション」などが主催する学習会などに11回出講したほか、全国消費者大会や日本NPO学会に登壇し、えど・そら事業の紹介や資金調達手法について意見を述べた。

また、市民ソーラー株式会社が運営するオーナー型の太陽光市民発電所（山梨県北杜市）への見学ツアーを企画・開催した。

<自己評価>

自主企画事業が少なかった。地球温暖化やエネルギー問題について関心を持ってもらう地域向けの自主企画事業が必要である。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

えど・そら事業に対する視察として、9月に「いたばしに発電施設をつくる区民プロジェクト」、11月に「アジア太平洋資料センター自由学校」を受け入れ、意見交換や交流を行った。また、小川町自然エネルギーファームの事業WSに参加し意見を述べたほか、10月には市民・地域共同発電所全国フォーラム2014（金沢）、1月には再生可能エネルギー普及全国フォーラム2015では事業報告を行った。

また、市民立第二発電所のリニューアルに伴い、余剰となった中古パネルを活用するため、バッテリーと組み合わせた移動式発電システムを作成すると共に、「江戸川子どもおんぶず」と連携して活動拠点「松江の家」にオフグリッドシステム設置を検討することになった。

<自己評価>

事業について地域の理解を広げるため拡散用グッズを整える必要がある。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

エコタウンえどがわ推進計画の次期計画については、江戸川区の策定状況を把握することができず、提言することができなかつた。しかし、NGOと超党派の都議会議員が連携して7月に都議会で開催された「市民と行政の協議会」には企画段階から参加し、100名を超える市民の参加を得て、東京都の再生可能エネルギー事業について担当部局と意見交換を行うことができた。また、市民環境団体の全国ネットワークをめざす「グリーン連合（仮称）」の設立に賛同した。

<自己評価>

江戸川区に対しては策定状況を確認していたが、意見聴取の機会が無かつたことは残念である。

5. 国内外で開催される、気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

「気候ネットワーク」や「ストップフロン全国連絡会」の運営に理事として活動に参画すると共に、気候ネットワークや「eシフト（脱原発・新しいエネルギー政策を実現する会）」が主催する行動やキャンペーン等に参加してきた。パワーシフトキャンペーンに賛同した。また、9月に韓国で開催された「東アジア気候フォーラム」に参加、日本の脱原発運動について報告した。

<自己評価>

キャンペーンに参加・賛同し運動の一翼を担ったが、会の活動周知が十分ではなかつた。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

江戸川区内において、6月に開催された江戸川区環境フェアに出展すると共に、「さようなら原発江戸川連絡会」「えどがわエコセンター」の活動ではメンバーとして参画した。また、オフグリッドハウス松江の家プロジェクトでは「江戸川子どもおんぶず」と連携することとなった。区外では、市民電力連絡会でも運営委員を担うとともに、原発メーカー訴訟や島根原発3号機訴訟にも原告として参加・協力している。

<自己評価>

市民・NGOとの連携交流は活発だったが、政府機関・自治体・事業者とは連携交流に至らなかつた。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

会報『あしもと通信』を4回（Vol.77～80）計画的に発行することができた。ホームページについては更新担当者を決め、端末を購入したものの、適宜更新することができないため、全面リニューアルすることとし、業者に委託することになった。その間、フェイスブックを通じて情報発信に努めた。

調査研究では、昨年度に引き続き一般社団法人地域生活研究所の共同研究「持続可能な地域づくりに向けた消費者による主体的な電力選択の可能性」に参加すると共に、情報の収集では10月にはエコプランふくい建設した市民共同節電所を見学、3月には生活クラブエナジー設立記念シンポジウムに参加し、『あしもと通信』などで情報提供を行った。

<自己評価>

できるだけ多くの理事、運営会員が情報の収集・共有を担える体制作りが求められる。

●その他の活動に係る事業

1. 発電にかかる事業

市民立発電所第一、第二ともに順調に発電を続けている。えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”は、1号機については改修によって冬季の日陰による発電量低下を回避でき、2号機と共に順調に発電した。昨年度の発電量は合計で27,450kWh、売電収入は1,182,579円となった。中期計画づくりWSを受けて、設立20周年に至るまでに合計発電出力数を50kWとする目標を立て、3号機建設に向けて候補地を探したが、確定までには至らなかつた。

<自己評価>

概ね想定通りの発電量を確保できたが、3号機建設候補地を確定できなかった。プロジェクトの周知・宣伝が十分にできていないことも原因として考えられる。

2014年度 事業活動日誌

- 4月17日 ●第1回運営委員会
- 5月11日 NPO 法人小川町自然エネルギーファームの事業 WS に参加
- 5月14日 ●第2回運営委員会
- 5月24日 2015年度定期総会（タワーホール船堀）
- 5月31日 パネルソーラー祭り（山梨県北杜市）に参加
- 6月01日 NPO 法人気候ネットワーク総会に出席
- 6月07日 ◇江戸川区環境フェアに出展、NPO 法人エコメッセ定期総会に出講
- 6月11日 ●第3回運営委員会
- 6月13日 河野ゆりえ都議会議員と再生可能エネルギーの普及拡大について懇談
- 7月02日 都議会「市民と行政の協議会」に参加
- 7月04日 ◇市民セクター政策機構「社会運動執筆者セミナー」に出講
- 7月05日 ◇エコメッセ昭島周年行事に出講
- 7月06日 中期計画づくりワークショップを開催
- 7月16日 ●第4回運営委員会
- 7月27日 さよなら原発江戸川連絡会「武藤類子講演会」に参加
原発ゼロかわさき市民共同発電所の NPO 法人設立記念シンポジウムに出席
- 7月28日 地域生活研究所・公開研究会「屋久島に見るエネルギーの自治と協同」に参加
- 8月10日 ◇一般社団法人八王子協同エネルギー法人総会に出講
- 8月16日 板取ツアー（～18）
- 8月20日 ●第5回運営委員会
- 9月12日 ※いたばしに発電施設をつくる区民プロジェクトから視察受け入れ
- 9月15日 東アジア気候フォーラム 2014＝韓国・光州市に出席（～18）
- 9月20日 ◇さよなら原発品川アクション総会に出講
- 9月24日 ●第6回運営委員会
- 10月03日 えど・そら1号改修工事について富士テクニカルと打ち合わせ
- 10月18日 市民ソーラーツアー（山梨県北杜市）に参加
- 10月21日 中古パネル移動発電キットの制作
- 10月22日 ●第7回運営委員会
- 10月24日 市民・地域共同発電所全国フォーラム 2014 に参加（～25）
- 10月25日 エコプランふくい市民共同節電所と市民共同発電所を見学
- 11月08日 ※PARC 自由学校から「えど・そら」視察受け入れ
- 11月09日 首都圏市民電力のつどいに参加
NPO ほんとにコミュニティえどがわ 10 周年イベントに出席
- 11月16日 NPO 法人小川町自然エネルギーファームの事業 WS に参加
- 11月19日 ●第8回運営委員会
- 11月30日 さよなら原発江戸川連絡会第4回総会&記念講演
- 12月04日 「自然エネルギーで豊かな日本をキャンペーン」イベントに参加
- 12月11日 市民電力連絡会出展手伝い（エコプロダクツ 2014）
- 12月17日 ●第9回運営委員会
- 1月10日 eシフト「パワーシフトシンポ」に参加
- 1月17日 ◇埼玉市民共同発電所フォーラム（大宮）に出講
- 1月21日 ◇江戸川総合人生大学に出講
●第10回運営委員会
- 1月24日 ◇再生可能エネルギー普及全国フォーラム 2015 で特別報告（～25）
- 2月01日 原発ゼロ市民共同川崎発電所の通電式に出席
- 2月09日 オフィス友恵とホームページ更新打ち合わせ
- 2月15日 ◇気候ネットワーク「市民が進める温暖化防止」（京都）にパネラー出演
- 2月20日 ●第11回運営委員会
- 2月27日 市民電力連絡会総会&設立1周年記念イベントに参加
- 3月13日 ◇全国消費者大会・環境分科会に登壇（四谷・プラザエフ）
- 3月14日 ◇日本 NPO 学会・疑似私募債パネルディスカッションに登壇（練馬・武蔵大学）
- 3月16日 生活クラブエナジー設立記念フォーラムに出席
- 3月20日 ●第12回運営委員会

第2号議案 2014年度会計決算報告

1) 活動計算書

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	1,500,644	1,500,644
会員会費収入	36,000	0	36,000
寄付金収入	199,426	0	199,426
市民ソーラー仲介収入	0	40,600	40,600
講師派遣収入	14,205	0	14,205
受取利息	0	654	654
その他収入	0	431	431
経常収益計	249,631	1,542,329	1,791,960
II 経常費用			0
			0
1.事業費			0
通信費	0	20,542	20,542
消耗品費	0	183,086	183,086
修繕費	0	294,840	294,840
諸会費	57,500	19,000	76,500
支払手数料	50,000	0	50,000
地代家賃	0	28,800	28,800
寄付金	50,000	0	50,000
印刷費	59,572	0	59,572
減価償却費	0	960,275	960,275
2.管理費			0
福利厚生費	1,500	1,500	3,000
荷造運賃	30,955	30,955	61,910
会議費	6,789	6,789	13,578
旅費交通費	6,250	6,250	12,500
通信費	19,655	19,655	39,310
消耗品費	29,259	29,259	58,517
事務用品費	4,935	4,935	9,870
水道光熱費	7,973	7,973	15,946
支払手数料	5,391	5,391	10,782
地代家賃	18,000	18,000	36,000
支払報酬料	159,384	159,384	318,767
印刷費	6,578	6,578	13,155
雑損失		7,120	7,120
			0
経常費用計	513,740	1,810,331	2,324,070
当期経常増減額	-264,109	-268,002	-532,110
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			-532,110
法人税、住民税及び事業税			70,132
当期正味財産増減額			-602,242
前期繰越正味財産			2,812,519
次期繰越正味財産			2,210,277

2) 貸借対照表

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	52,739		
普通預金	3,522,281		
売掛金	120,897		
立替金	0		
流動資産合計		3,695,917	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
構築物	7,177,660		
有形固定資産計	7,177,660		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産			
長期貸付金	470,000		
投資その他の資産計	470,000		
固定資産合計		7,647,660	
資産合計			11,343,577
II 負債合計			
1. 流動負債			
未払金	63,300		
未払法人税等	70,000		
流動負債計		133,300	
2. 固定負債			
えど・そら債	9,000,000		
固定負債合計		9,000,000	
負債合計			9,133,300
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,812,519	
当期正味財産増減額		-602,242	
正味財産合計			2,210,277
負債及び正味財産合計			11,343,577

3) 財産目録

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
手元現金	52,739	
普通預金		
三菱東京UFJ銀行 小松川支店	1,255,232	
小松川信用金庫 菅原橋支店	1,943,234	
(返済積立金1,000,000円を含む)		
ゆうちょ銀行 振替口座	323,815	
売掛金		
NPO法人 ほっとコミュニティえどがわ	120,897	
流動資産合計		3,695,917
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
構築物(太陽光パネル3台)	7,177,660	
有形固定資産計	7,177,660	
(2) 無形固定資産	0	
(3) 投資その他の資産		
長期貸付金	470,000	
省エネ家電買換サポート融資)		
投資その他の資産計	470,000	
固定資産合計		7,647,660
資産合計		11,343,577
II 負債合計		
1. 流動負債		
未払金		
ほっと館 屋根使用料	14,400	
ファーム地代家賃等	42,000	
経費未精算分	6,900	
未払法人税等	70,000	
流動負債計		133,300
2. 固定負債		
えど・そら債 1号	5,000,000	
えど・そら債 2号	4,000,000	
固定負債合計		9,000,000
負債合計		9,133,300
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	2,812,519	
当期正味財産増減額	-602,242	
正味財産合計		2,210,277
負債及び正味財産合計		11,343,577

監査の結果、上記のとおり相違ありません。

2015年5月20日

監事 藤居 阿紀子

第3号議案 2015年度事業計画案について

★脱原発・低炭素社会に向けた可能性の実践と発信

東京電力・福島第一原子力発電所のメルトダウン事故から4年が経過した。事故は収束に向かうどころか、日々始まり続けていると言ってよく、放射能による汚染を続けている。脱原発と低炭素社会を実現するには、原発稼働ゼロと省エネの推進、再生可能エネルギーの拡大が求められる。ところが、原発の維持に固執する政府は再生可能エネルギーの導入抑制や新たな原発支援策、原発の海外輸出を打ち出し、原発維持を困難とする電力システム改革を不十分なものにしようとしている。こうした政府の姿勢に対し、市民側からは、2016年度の電力小売り自由化に向けて再生可能エネルギー導入促進を進める運動が始まり、気候変動対策をはじめとする環境政策についても消極的な政府に対して全国ネットワークが設立されようとしている。

本会では、脱原発と低炭素社会をめざす市民側の様々な動きに参加・賛同しながら、江戸川区においても同様の動きを進めるため、会の活動への理解を得るために地域への周知を進めるとともに実践に向けた具体的な取り組みを検討、実施していく。また、2017年度に設立20周年を迎えるに当たって周年事業の検討を始める。

●特定非営利活動に係る事業

1. 家庭・地域における省エネアクションプランの作成とキャンペーンの実施

エコプランふくいによる市民共同節電事業の経験に学びながら、江戸川区やえどがわエコセンターと新たな省エネアクションの可能性について検討の場を持つ。また、えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会に参加し省エネ・節電チャレンジやみどりのカーテンモニター事業に関わっていく。

2. 地球温暖化やエネルギー等環境問題に関する研修会の実施等の啓発教育

オーナー型市民発電所の見学ツアーを開催すると共に、6月には江戸川区環境フェアに出展し、地球温暖化問題やエネルギー問題について情報を発信していく。区内団体向けに市民立発電所第二の中古パネルを活用した移動PVシステム講座を企画・開催する。また、他団体が主催するセミナーや学習会への講師派遣を行う。

3. 市民出資による自然エネルギー発電所の建設と運営

市民立発電所やえどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”への視察を受け入れると共に、「市民電力連絡会」に参加し、経験交流や課題の共有を図る。また、えどがわ市民発電プロジェクト“えど・そら”を紹介するパンフレットを作成する。市民立発電所第二の中古パネルを活用した「松江の家」でのオフグリッドシステムの運用を通じて、オフグリッドに関するデータ蓄積を図る。

4. 地球温暖化防止のための地域行政、国、国際社会、市民への政策提言

えどがわエコセンター低炭素社会づくり委員会などを通じて江戸川区地域エネルギービジョン「エコタウンえどがわ推進計画」の充実に努めるとともに、気候ネットワークやeシフト、グリーン連合などが企画・主催する政策提言活動に参加する。また、新たに設立されるグリーン連合では幹事として政府の環境政策の強化に向けた運営に参画する。

5. 気候変動枠組み条約関連会議への参加やキャンペーンの実施

気候ネットワークやストップフロン全国連絡会の運営に理事として参画すると共に、それらを含む団体が主催する、気候変動対策キャンペーン「Climate Action Now!」や再生可能エネルギーの普及拡大に向けた「パワーシフトキャンペーン」に積極的に参加する。

6. 政府機関、自治体、事業者、市民、NGOとの交流、連絡提携

区内においては、「さようなら原発えどがわ連絡会」「えどがわエコセンター」「江戸川子どもおんぶず」と連携していくとともに、区外では市民電力連絡会や市民・地域共同発電所全国フォーラムを通じて、市民・地域主導による再生可能エネルギー発電事業を指向する個人・団体や本会の事業活動に関心を持つ自治体や社会団体、市民との交流や連絡提携を積極的に行う。また、島根原発3号機訴訟や原発メーカー訴訟などエネルギー問題に関わる社会的な問いかけの動きを引き続き支援していく。

7. 本法人の目的および地球環境問題全般に関する調査研究および情報の収集と提供

本会の発信力強化に資するためホームページを全面的にリニューアルし、活動内容の周知を図るとともに、『あしもと通信』の計画的な発行に努める。必要に応じて気候変動問題やエネルギー問題に関する調査研究や情報の収集を行う。また、設立20周年に向けて、これまでの活動を振り返り、今後の活動の展望をさぐる周年事業の開催について検討する。

●その他の事業

1. 発電にかかる事業

えど・そら事業の経験を伝えるため、ホームページやパンフレットを通じて積極的な情報発信に努めるとともに、借入金償還に向けて、提供する消費財・サービスなどのメニュー開発を進める。

第4号議案 2015年度予算案について
活動計算書

	非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
売電売上	0	1,500,000	1,500,000
会員会費収入	80,000	0	80,000
寄付金収入	200,000	0	200,000
市民ソーラー仲介収入	0	40,000	40,000
講師派遣収入	20,000	0	20,000
受取利息	0	500	500
その他収入	0	0	0
経常収益計	300,000	1,540,500	1,840,500
II 経常費用			0
			0
			0
1.事業費			0
通信費	65,000	65,000	130,000
消耗品費	0	200,000	200,000
工事費	500,000	0	500,000
修繕費	0	50,000	50,000
諸会費	60,000	20,000	80,000
支払手数料	50,000	0	50,000
地代家賃	0	28,800	28,800
寄付金	50,000	0	50,000
印刷費	20,000	20,000	40,000
減価償却費	0	950,000	950,000
2.管理費			0
福利厚生費	0	0	0
広報宣伝費	65,000	65,000	130,000
会議費	7,500	7,500	15,000
旅費交通費	7,500	7,500	15,000
通信費	20,000	20,000	40,000
消耗品費	10,000	10,000	20,000
事務用品費	5,000	5,000	10,000
水道光熱費	8,000	8,000	16,000
支払手数料	6,000	6,000	12,000
地代家賃	18,000	18,000	36,000
支払報酬料	150,000	150,000	300,000
印刷費	10,000	10,000	20,000
			0
経常費用計	1,052,000	1,640,800	2,692,800
当期経常増減額	-752,000	-100,300	-852,300
経理区分振替額			0
税引前当期正味財産増減額			-852,300
法人税、住民税及び事業税			70,200
当期正味財産増減額			-922,500
前期繰越正味財産			2,812,519
次期繰越正味財産			1,890,019

※返済積立金として1,000,000円を積み立てる予定である。

第5号議案 2015～2016年度役員案について

	役名	(フリガナ) 氏 名	住 所 又 は 居 所	備 考	再新
1	理事	ナラ ユキ 奈良 由貴	東京都江戸川区臨海町2丁目2番8号 504号	代表理事	再
2	理事	ヤマザキ モトヒロ 山崎 求博	東京都江戸川区中葛西7丁目7番8号 ダイアパレス葛西II504号室	副代表理事	再
3	理事	オオコウチ ヒデヒト 大河内 秀人	東京都江戸川区東小松川2丁目5番12号		再
4	理事	ヤナギザワ イチロウ 柳澤 一郎	江戸川区東小岩4丁目6番10号		再
5	理事	フジイ アキコ 藤居 阿紀子	東京都江戸川区清新町1丁目4番15号 シティコープ清新706号室		新
6	監事	オオグリ ひろみ 大栗 ひろみ	東京都江戸川区中葛西1丁目2番18号 宇喜田ホームズ1107号室		新